

インターバンクの声（2017 年 7 月 13 日）

昨夜の外国為替市場では、日本時間 23 時から始まるイエレン FRB 議長の議会証言を待たずに、21 時 30 分に配布された証言テキストを受けて、円相場が一時 112 円 90 銭台までドル売りが進んだ。事前に配布されたテキストに、経済の成長と物価の安定に向け「今後数年、緩やかな利上げが適切」「金利は中立水準に達するまで大きく引き上げる必要はない」などの認識が示されていたためだ。年内の利上げ期待が後退して米長期金利が急低下したとあって、前日のトランプ米大統領長男のロシア政府との米大統領選介入への疑惑報道によるドル売りの流れをさらに強めることになった。ただ、議会証言ではバランスシートの縮小を年内に始めると見込んでいるとの発言もあり、若干ドルが買い戻されている。市場が早期の追加利上げや利上げペースを加速させるような発言を期待していたこともあって、受け止め方はどうしてもハト派的になってしまったが、今後の株価や長期金利動向によっては必ずしもドル売り一辺倒ではないだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。